

# 2014年度決算説明会

2015年5月22日

株式会社 神鋼環境ソリューション

I 2014年度決算

II 2015年度見通し

III 2013~15年度中期経営計画進捗状況

I 2014年度決算

◆ I 2014年度決算  
全体概要（連結）

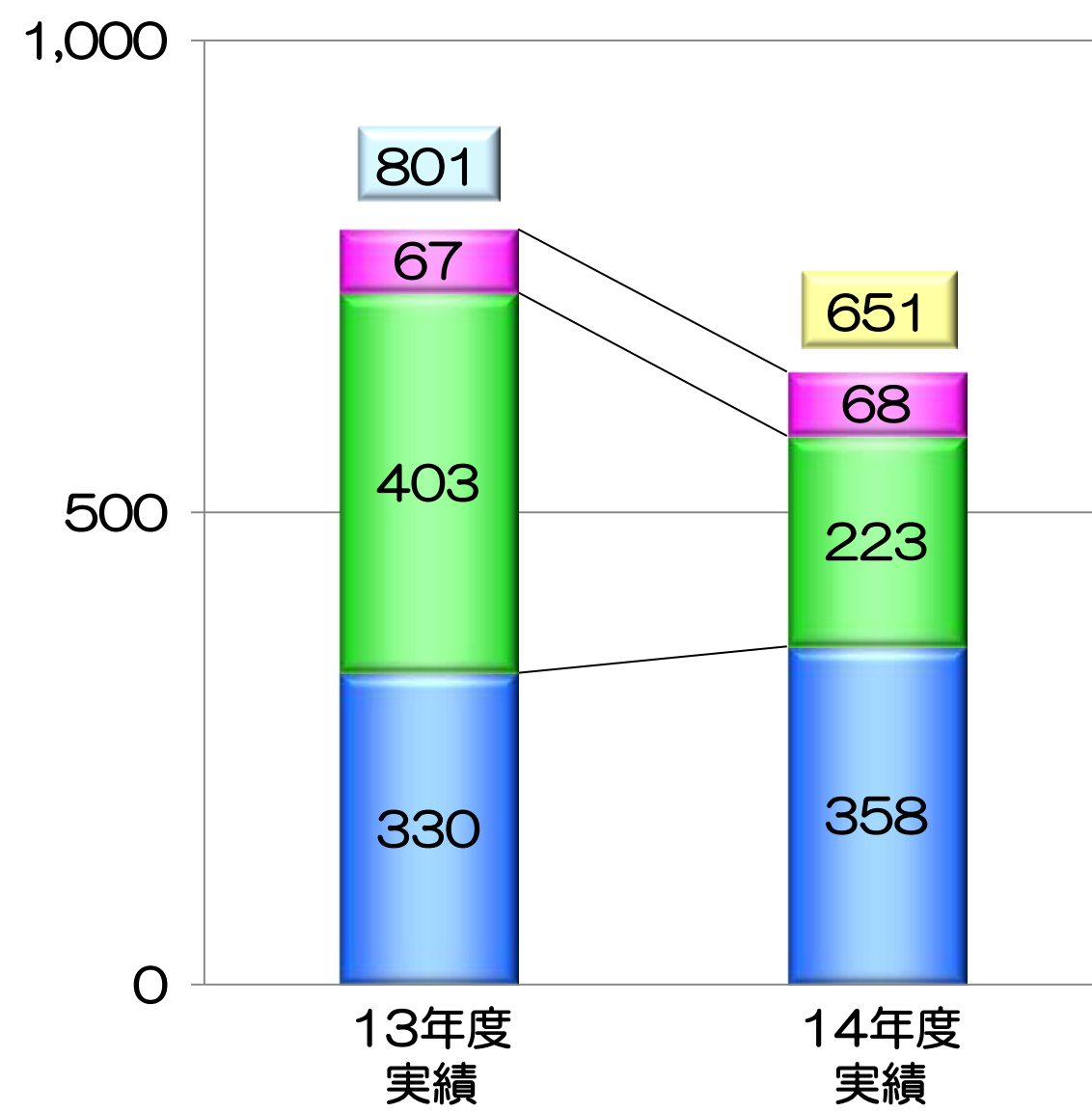
	13年度 実績 ①	14年度 実績 ②	単位：億円 差異 ②-①
受注・受託高	801	651	△ 150
売上高	681	681	0
営業利益	26.4	30.2	3.8
《営業利益率（％）》	《 3.9 》	《 4.4 》	—
経常利益	26.0	30.0	4.0
《経常利益率（％）》	《 3.8 》	《 4.4 》	—
当期純利益	13.1	16.5	3.4
《当期純利益率（％）》	《 1.9 》	《 2.4 》	—
《自己資本利益率【ROE】：（％）》	《 6.7 》	《 8.2 》	—

※受注・受託高は長期運転維持管理業務の受託高を含む

◆ I 2014年度決算  
セグメント別受注・受託高（連結）

■ 水処理 ■ 廃棄物処理 ■ 化学・食品機械

単位：億円



<13年度との差異 Δ150 >

化学・食品機械 (+1)

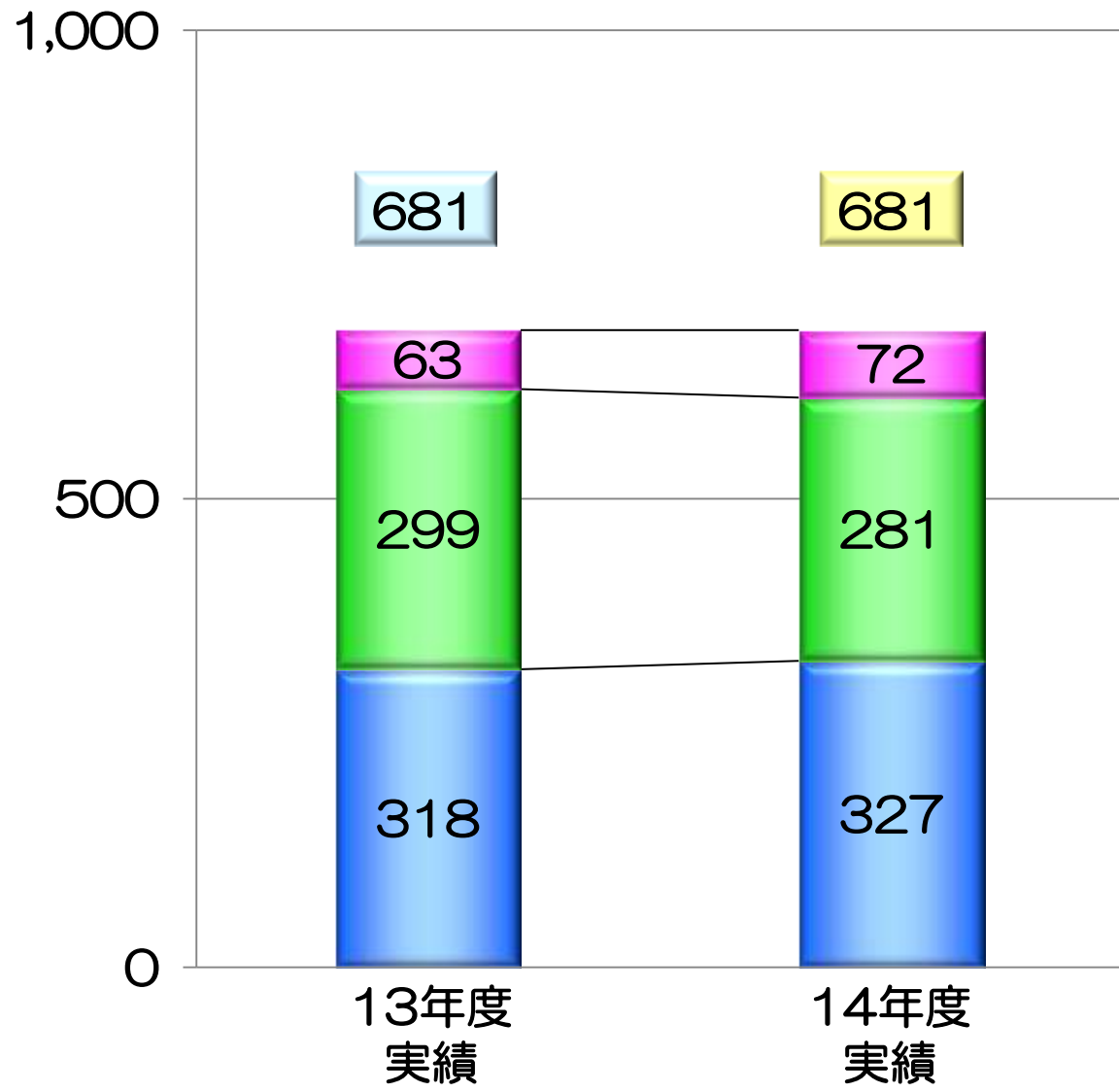
廃棄物処理 (Δ180)  
・大型の廃棄物処理建設案件、  
長期包括案件を受注した  
13年度に比べ減少

水処理 (+28)  
・大型案件を受注した海外  
水処理分野にて増加

◆ I 2014年度決算  
セグメント別売上高（連結）

■ 水処理 ■ 廃棄物処理 ■ 化学・食品機械

単位：億円



< 13年度との差異 ±0 >

化学・食品機械 (+9)  
・受注時期の関係により増収

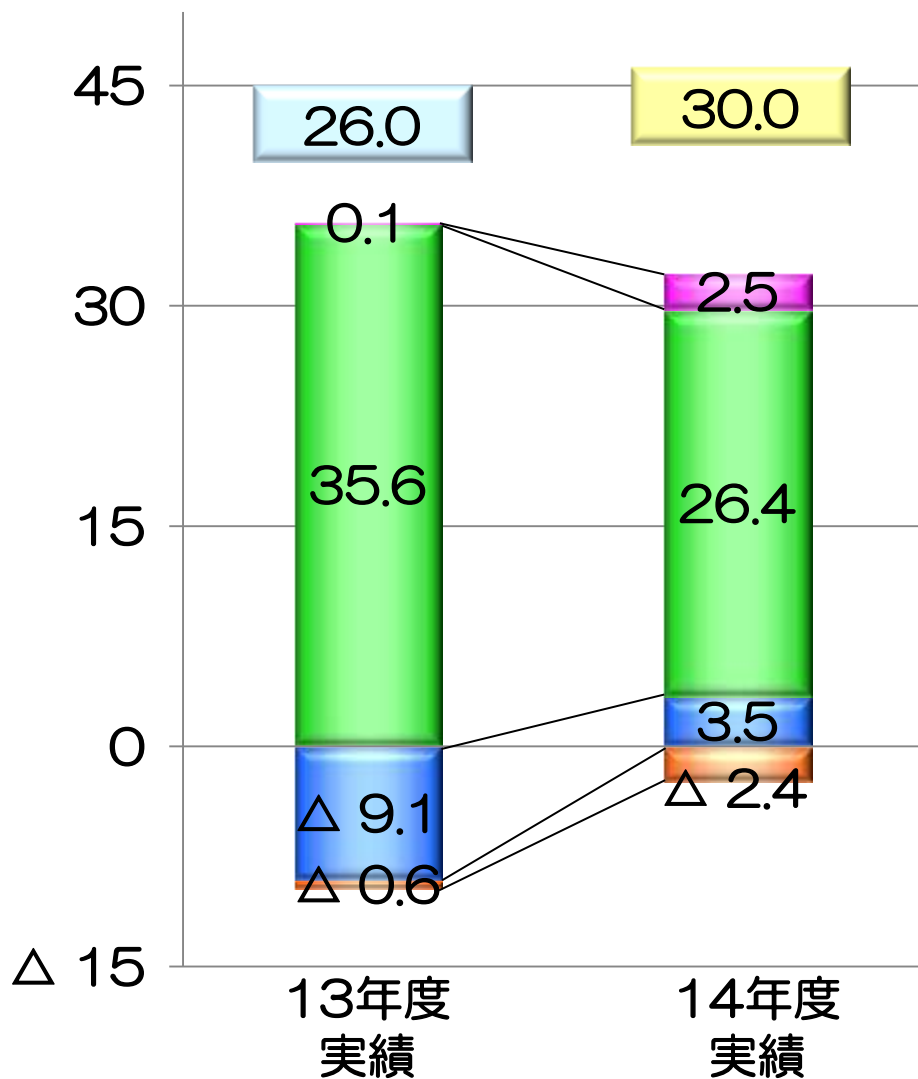
廃棄物処理 (△18)  
・13年度に大型の廃棄物処理建設案件が完工した影響等により減収

水処理 (+9)  
・官需水処理分野(特に下水)、産業用水処理分野の案件進捗等により増収

◆ I 2014年度決算  
セグメント別経常利益（連結）

単位：億円

■ 水処理 ■ 廃棄物処理 ■ 化学・食品機械  
■ 調整額



< 13年度との差異 +4.0 >

化学・食品機械 (+2.4)  
・増収及びコストダウン効果により増益

廃棄物処理 (△9.2)  
・減収並びに案件構成の変化等により減益

水処理 (+12.6)  
・増収及び案件コストの改善効果等により増益

調整額 (△1.8)

◆ I 2014年度決算  
連結財政状態・配当

		単位：億円	
		13年度 実績	14年度 実績
総資産		586	578
株主資本	資本金	60	60
	資本剰余金	33	33
	利益剰余金	108	118
	計	201	211
《自己資本比率（％）》		《 33.4 》	《 35.9 》
外部負債残高	短期借入金	85	14
	長期借入金	1	—
	計	86	14
《D/Eレシオ（倍）》		《 0.44 》	《 0.07 》
年間配当金（円/1株）		9.00	9.00 （予定）
配当性向（％）		55.0	43.8 （予定）



## Ⅱ 2015年度見通し

# ◆Ⅱ 2015年度見通し 全体概要（連結）

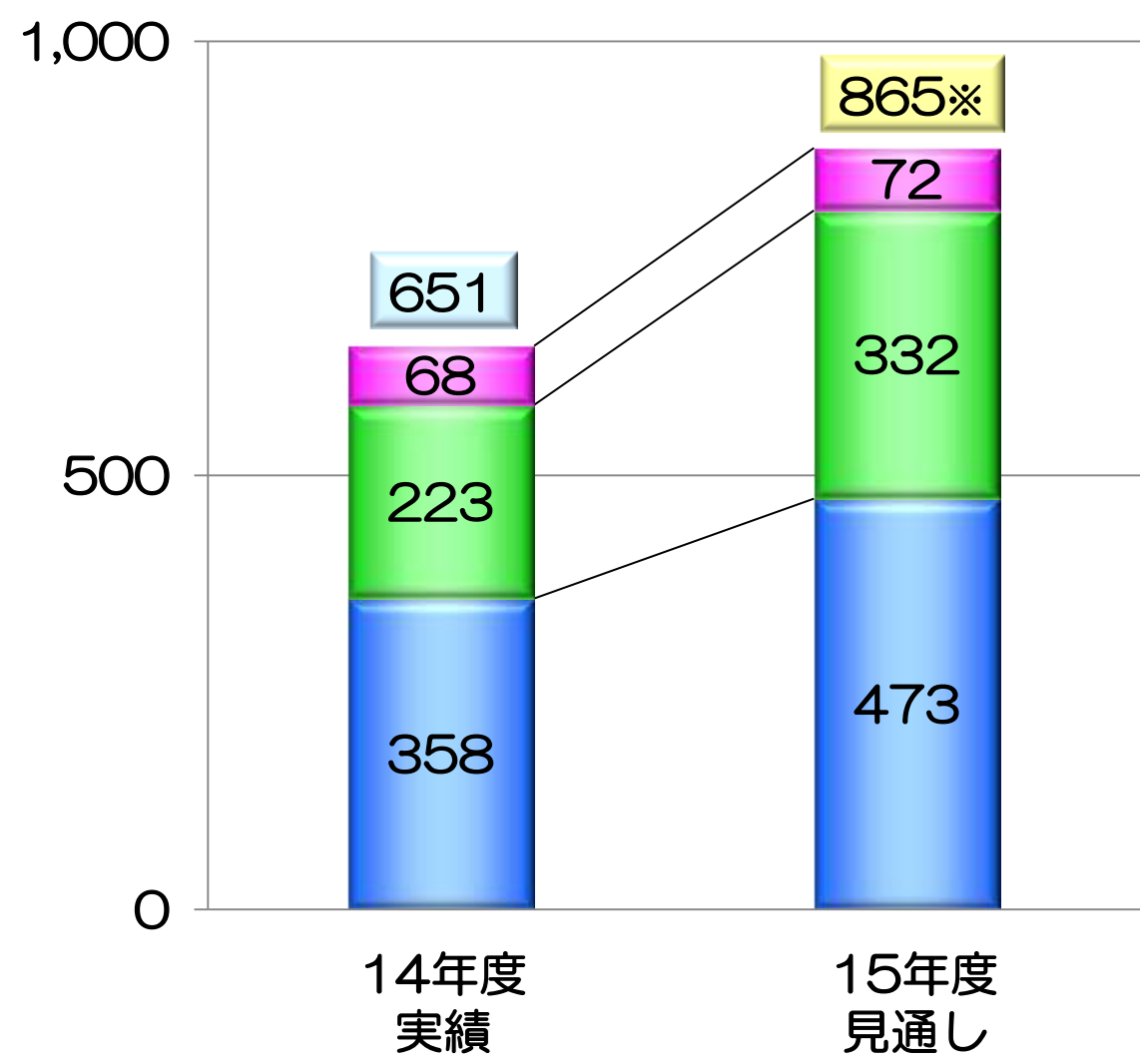
	14年度 実績 ①	15年度 見通し ②	単位：億円 差異 ②-①
受注・受託高	651	865	214
売上高	681	830	149
営業利益	30.2	35.0	4.8
《営業利益率（％）》	《4.4》	《4.2》	—
経常利益	30.0	35.0	5.0
《経常利益率（％）》	《4.4》	《4.2》	—
当期純利益	16.5	22.0	5.5
《当期純利益率（％）》	《2.4》	《2.7》	—
《自己資本利益率【ROE】：（％）》	《8.2》	《10.2》	—

※受注・受託高は長期運転維持管理業務の受託高を含む

◆Ⅱ 2015年度見通し  
セグメント別受注・受託高（連結）

■ 水処理 ■ 廃棄物処理 ■ 化学・食品機械

単位：億円



< 14年度との差異 +214 >  
 化学・食品機械 (+4)  
 ・民間設備投資需要の回復期待により増加の見込み

廃棄物処理 (+109)  
 ・アフターサービス分野、及び海外廃棄物処理分野で増加の見込み

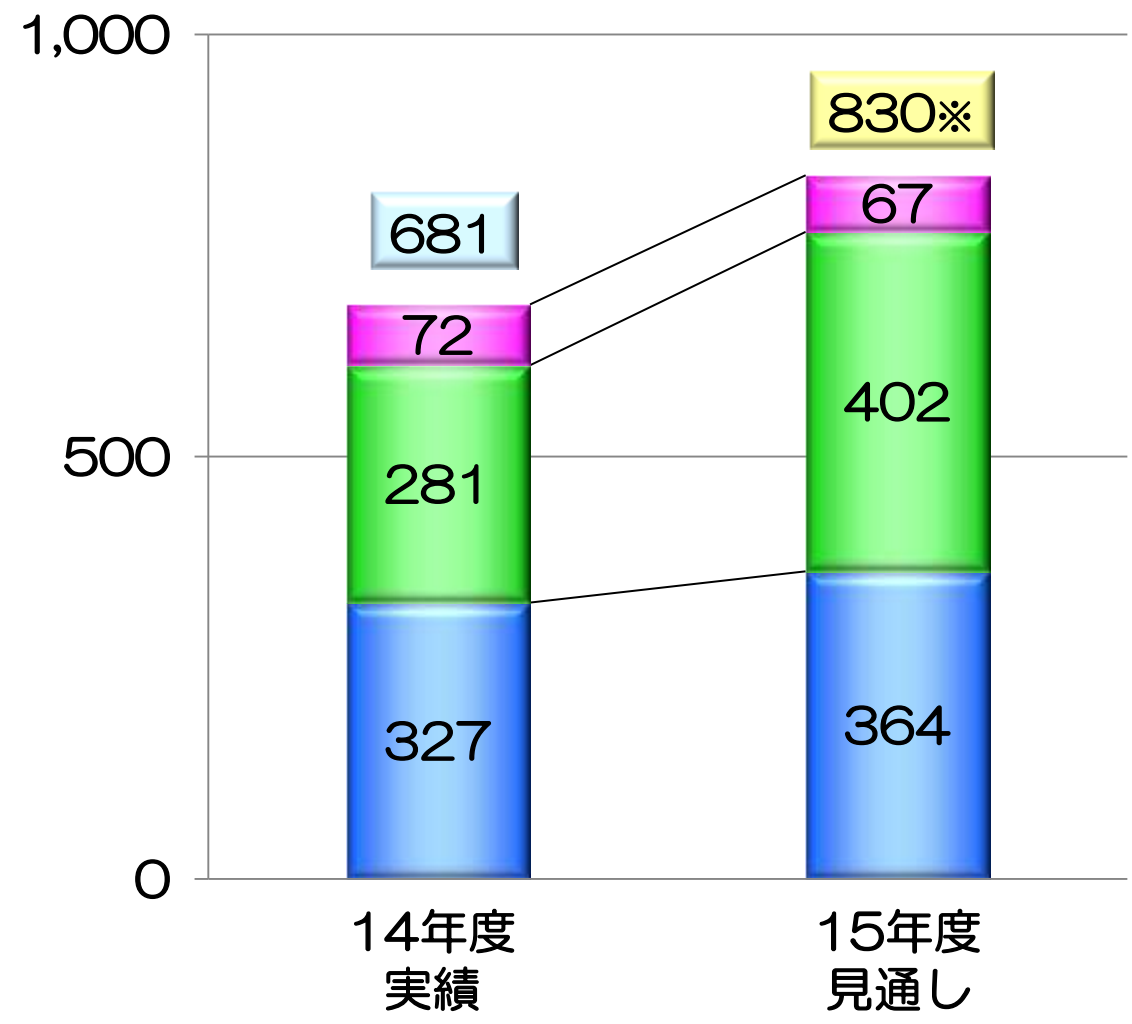
水処理 (+115)  
 ・官需水処理分野(長期包括案件等)、産業用水処理分野で増加の見込み

※セグメント間調整額  
△12億円を含む

◆Ⅱ 2015年度見通し  
セグメント別売上高（連結）

■ 水処理 ■ 廃棄物処理 ■ 化学・食品機械

単位：億円



< 14年度との差異 +149 >

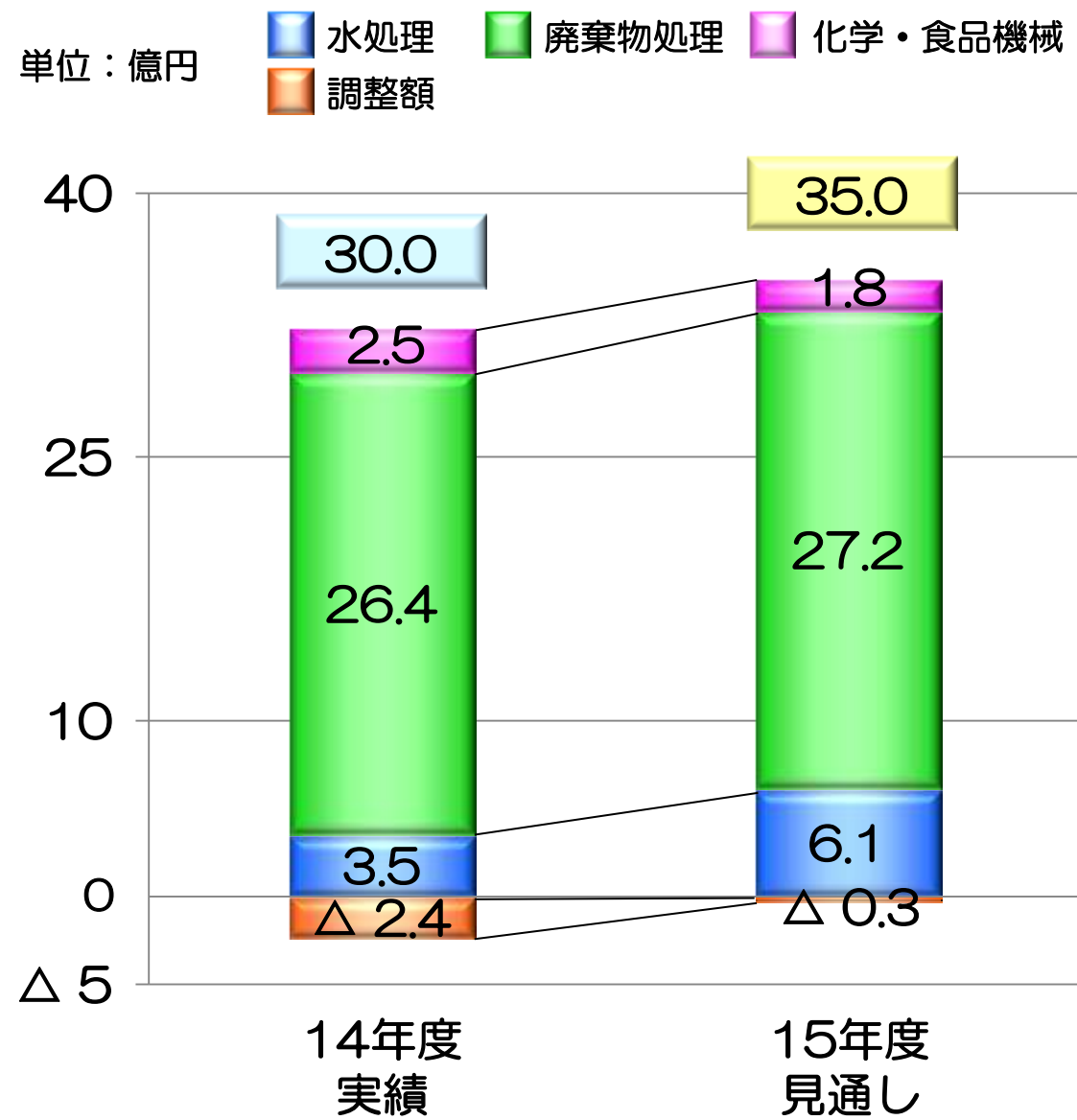
化学・食品機械 (Δ5)  
・受注時期の関係により減収の見込み

廃棄物処理 (+121)  
・廃棄物処理建設案件が大きく進捗すること等により増収の見込み

水処理 (+37)  
・官需水処理、産業用水処理のEPC分野等で増収の見込み

※セグメント間調整額  
Δ3億円を含む

◆Ⅱ 2015年度見通し  
セグメント別経常利益（連結）



< 14年度との差異 +5.0 >

化学・食品機械 (△0.7)

廃棄物処理 (+0.8)  
・廃棄物処理建設案件の進捗に伴う増収等により増益の見込み

水処理 (+2.6)  
・官需水処理、産業用水処理のEPC分野での増収等により増益の見込み

調整額 (+2.1)

## Ⅲ 2013～15年度中期経営計画進捗状況

## ■目指すべき企業像

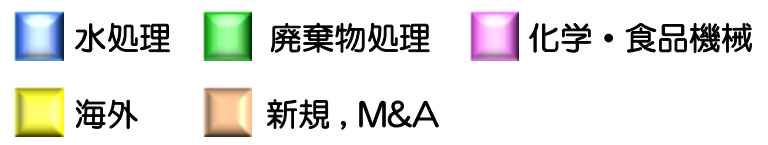
環境・エネルギー分野で、  
特色あるプロセス・ハード/サービスを  
提供する存在感のあるグローバル企業となる

## ■2020年度 数値目標

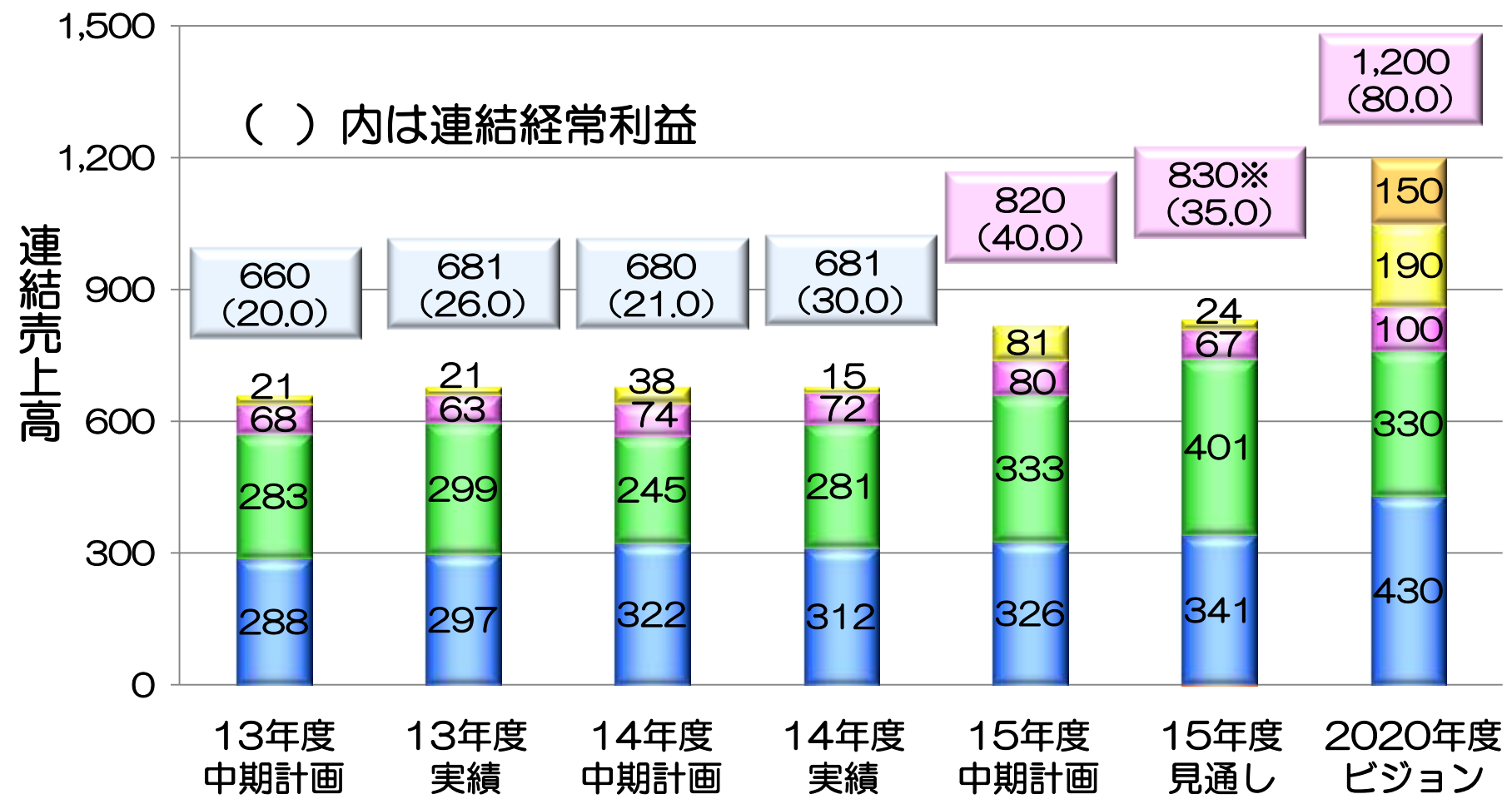
連結売上高	1,200億円
-------	---------

連結経常利益	80億円
--------	------

## ◆Ⅲ 2013~15年度中期経営計画 売上高（連結）、経常利益（連結）



単位：億円

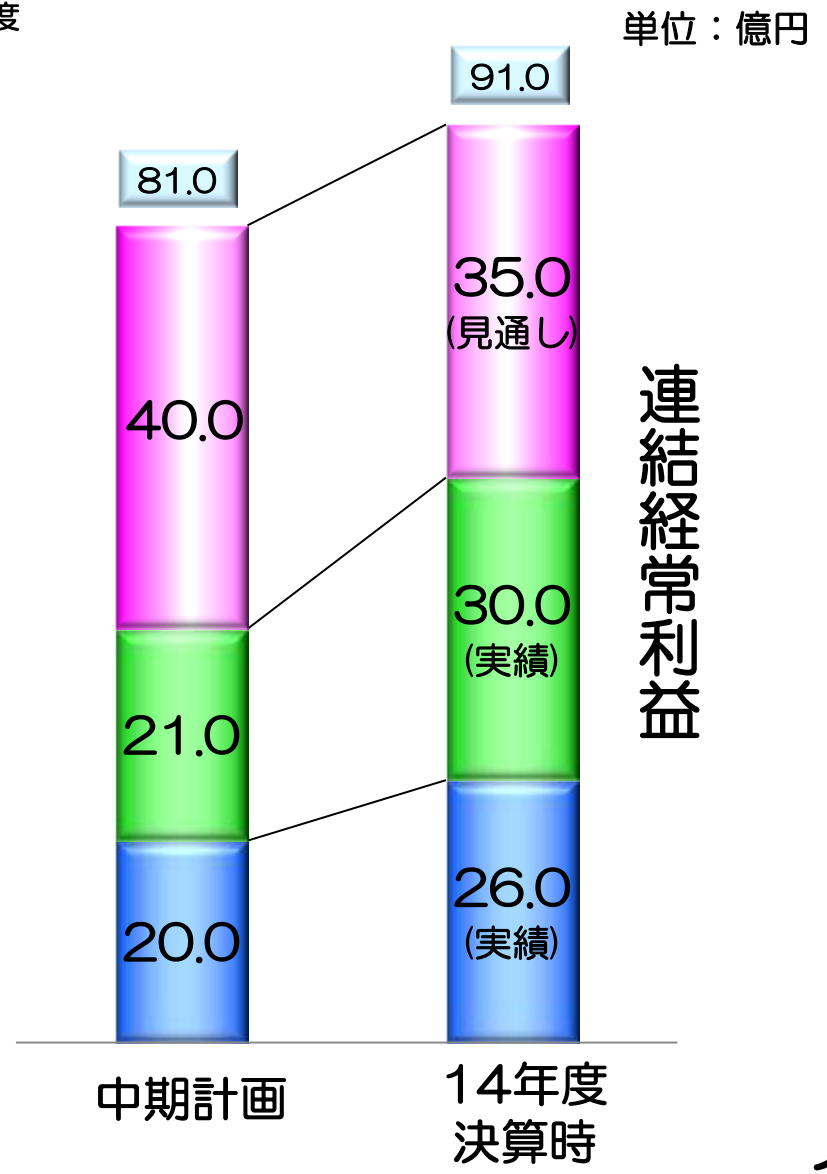
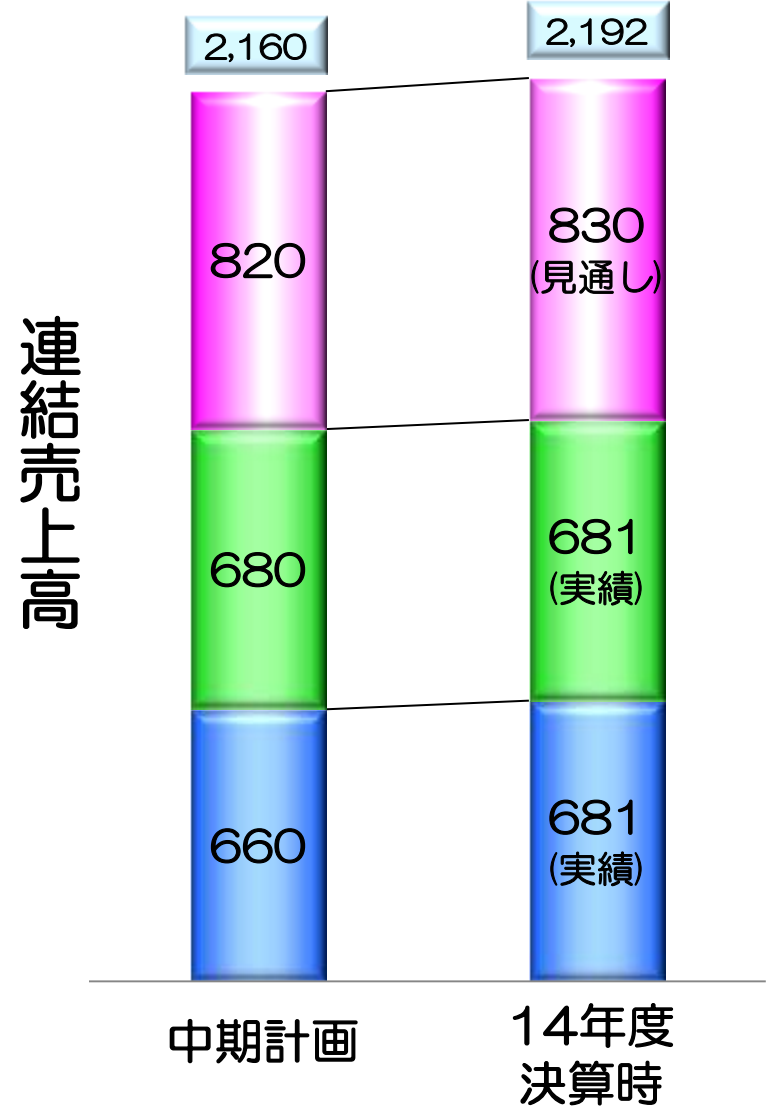


※セグメント間調整額△3億円を含む  
 \* 海外売上高は化学・食品機械分を除く



◆Ⅲ 2013～15年度中期経営計画  
累計比較

単位：億円      ■ 13年度      ■ 14年度      ■ 15年度



◆Ⅲ 2013～15年度中期経営計画  
 当社グループを取り巻く事業環境

国内	共通	再生可能エネルギーの <u>関連需要が拡大</u> 放射能除染・廃棄物処理関連需要が <u>本格化</u> 震災復興本格化に伴い、 <u>工事コストが上昇</u>
	水処理	官需では「新水道ビジョン」に続き、「新下水道ビジョン」が公表され、 <u>事業・技術動向に動きあり</u> (民間活用、アセットマネジメント活用等PFI・DBOに向けた動きが顕著化)
	廃棄物処理	新規案件では、機種競合案件が <u>増加</u> 既納施設では、基幹改良ニーズが <u>堅調</u>
	化学・食品機械	民間設備投資は先行き不透明なるも、 <u>回復の見込み</u>
海外	アジア等新興国	景気減速も、インフラ整備の <u>ODA案件は堅調</u> 円安により日本企業進出案件は減少傾向
	欧州	「EU再生可能エネルギー促進指令」の <u>採択</u> 再生可能エネルギーへのインセンティブにより ガス化熔融技術の優位性が <u>継続(英国)</u>

①業界でのレベル向上

＜体質改善、競争力強化＞

②海外における成長機会の追求

＜事業規模の拡大＞

③モノだけの価値から、サービスも含めた  
価値による事業形成への転換

＜収益最大化・安定化＞

④新規メニュー、新規事業の創出

＜成長と発展＞

## ①業界でのレベル向上

＜体質改善、競争力強化＞

### ○技術の差別化と徹底的なブラッシュアップ

- ・ 機器の準内作化/ユニット化の推進を継続

### ○基幹ハードウェアの拡充

- ・ 次世代下水汚泥処理システムの開発を推進

### ○ライフサイクルコストの低減

- ・ 徹底したコストダウンの推進
- ・ 廃棄物発電の高効率化

## ②海外における成長機会の追求

### ＜事業規模の拡大＞

#### ベトナム・東南アジア

- エンジニアリング拠点の拡充
  - ・ODA案件の取り組み強化とベトナム現地法人：KESV<sup>※1</sup>のエンジニアリング拠点としての対応力向上
- 生産拠点の拡充
  - ・グラスライニング製機器の製造工場が生産開始
- ビジネスモデルの構築
  - ・インフラ整備市場でのPPP<sup>※2</sup>案件の推進
  - ・工業団地活用型ビジネスへの注力

#### 欧州

- 英国市場へのガス化溶融技術の適用

※1 KESV : KOBELCO ECO-SOLUTIONS VIETNAM CO.,LTD.

※2 PPP : Public-Private Partnership

## ベトナムでの取り組み

○2010年の現地法人(KESV)設立から着実に実績を蓄積

### ➤ 2014年度

6月 ベトナム南部にて工業団地向け総合排水処理設備を受注  
2月 ビンズオン省での下水処理設備を受注 (ODA案件初受注)

### ビンズオン省向け下水処理設備案件概要

名称： Construction of Sewerage Treatment Plant  
(回分式下水処理設備)

処理能力：17,000 m<sup>3</sup>/日

### ➤ 受注済み案件の進捗

名称： Water Treatment System

ユーザー： VINA KYOEI STEEL Co., Ltd.

処理能力：製鋼用水処理、圧延用水処理 合計8,490 m<sup>3</sup>/hr

作業状況：2015年6月竣工に向け、試運転対応中

## 英国での取り組み

- 施設規模 600 t /日 (300 t /日×2系列)
- 案件状況 2015年3月 当社の先進技術をベースに、パートナーと構築するプロジェクトが英国版固定価格買取制度 (FIT-CfD※)の対象として採択された
- 当社対応状況 パートナーへコア設備となる当社主要機器(ガス化炉、溶融炉等)を提案中

※ FIT- CfD : Feed-in Tariff with Contracts for Difference  
英国が導入した電力市場改革 (EMR : Electricity Market Reform)  
施策の一つ  
政府の補助により、対象となる事業者の発電収入の安定化を図ることで、  
低炭素型発電を促進するインセンティブ制度

### ③モノだけの価値から、サービスも含めた 価値による事業形成への転換

＜収益最大化・安定化＞

○ODBO案件、長期包括委託案件への対応強化

- ・ 長期包括委託案件を継続して受注

○操業データの設計へのフィードバック

- ・ 操業データの集約/一元管理化が着実に進展

○定期的な技術&コストローリングによるリスク最小化

○OPCB処理事業の拡充



# ◆Ⅲ 2013～15年度中期経営計画 メンテナンス事業再編

- 連結子会社との役割分担を見直し、2014年10月1日を期日として水処理関連事業・廃棄物処理関連事業のメンテナンス事業を再編
- 設計・施工とアフターサービス一体となった事業運営を開始

## 水処理関連事業

- ODBO・PFI案件における提案力・技術対応力の強化
- 薬剤・メンテナンス・設備事業の三位一体による顧客サービスの向上と事業強化

## 廃棄物処理関連事業

- 大型基幹改良案件への提案活動強化
- 効率的なプロジェクト監理と安全・品質面での工事対応力の強化

- ◆ 新規建設案件並びに既設案件（ストックビジネス案件）への提案力を強化すると共に、更に細やかなサービスを顧客に提供することが最大の目的

◆Ⅲ 2013～15年度中期経営計画  
PCB処理事業の拡充

PCB処理事業の取り組み

➤ 受注実績

○中間貯蔵・環境安全事業株式会社殿向

- ・豊田PCB処理事業所(容器洗浄)
- ・北海道PCB処理事業所(液処理+容器洗浄)
- ・北九州PCB処理事業所(プラズマ溶融：第2期その1)
- ・北九州PCB処理事業所(プラズマ溶融：第2期その2)
- ・北海道PCB処理事業所(プラズマ溶融：増設)

○中国電力株式会社殿向

- ・絶縁油リサイクルセンター  
(2014年10月:PCB処理終了)

⇒PCB特別措置法の改正により、2027年3月31日まで処理期間が延長

○神戸市内某事業所殿向

- ・微量PCB汚染変圧器現地洗浄処理

⇒2015年3月に「低濃度PCB廃棄物の無害化処理に関わる大臣認定」を取得し、微量PCBの現地洗浄処理事業を本格的に開始  
現在、電力会社及び民間企業等に対し技術提案活動を実施中



微量PCB洗浄装置外観

## ④新規メニュー、新規事業の創出 ＜成長と発展＞

○放射能除染・廃棄物処理関連事業

○バイオマス利活用

・バイオマス発電

・バイオ天然ガス化技術

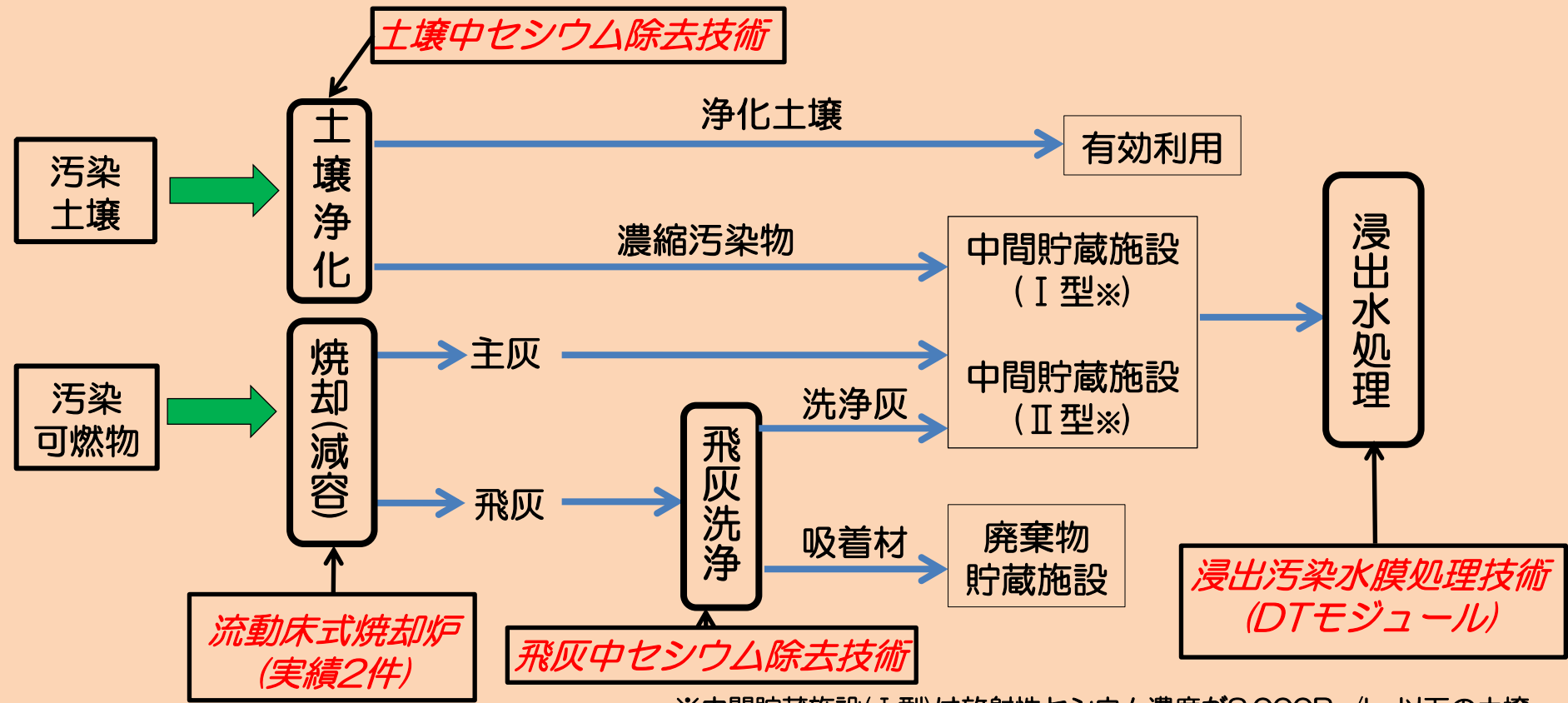
○木質バイオマス発電事業

○微細藻類生産技術の確立

○水素社会への貢献

◆Ⅲ 2013～15年度中期経営計画  
放射能除染・廃棄物処理に関する取り組み

●放射能除染・廃棄物処理フローと当社保有メニュー (朱書部)



※中間貯蔵施設 (I 型)は放射性セシウム濃度が8,000Bq/kg以下の土壌を貯蔵、II 型は8,000Bq/kgを超える土壌、焼却灰等を貯蔵する施設

◆Ⅲ 2013～15年度中期経営計画  
木質バイオマス発電事業

▶ 木質バイオマスを原料とした発電事業に着手

2016年4月～ 事業開始予定

発電規模： 6,000 kW級

実施場所： 福井県大野市

発電施設： 流動床式ガス化燃焼炉

原料収集量： 約7～8万トン/年  
(間伐材、一般木材 等)

事業主体： (株)福井グリーンパワー

出資比率：	当社	70%
	出光興産(株)	10%
	九頭竜森林組合	10%
	(有)ニューチップ運送	10%

(2015年7月予定)

特長： 20年間の固定価格買取が保証  
されるFIT制度の認定を取得済み



施設完成イメージ

# ◆Ⅲ 2013～15年度中期経営計画 微細藻類生産技術の確立

- 1m<sup>3</sup>培養槽において大量培養技術を確立
- 従属栄養培養方式で安定的に培養
  - ⇒ 回分培養から流加培養への改良により、  
約2倍(当社比)のバイオマス生産性を確認

## 現在の活動内容

- 経済性の高い培養条件の最適化を目指し、  
培養実験を継続中
- キログラム単位でサンプル提供する体制を  
確立
  - ⇒ 複数のビジネスパートナー候補と協議中
- 食品・化粧品・化成品分野への適用に軸足を  
置き、事業化に向け検討中

微細藻類(従属栄養培養)



10 μm

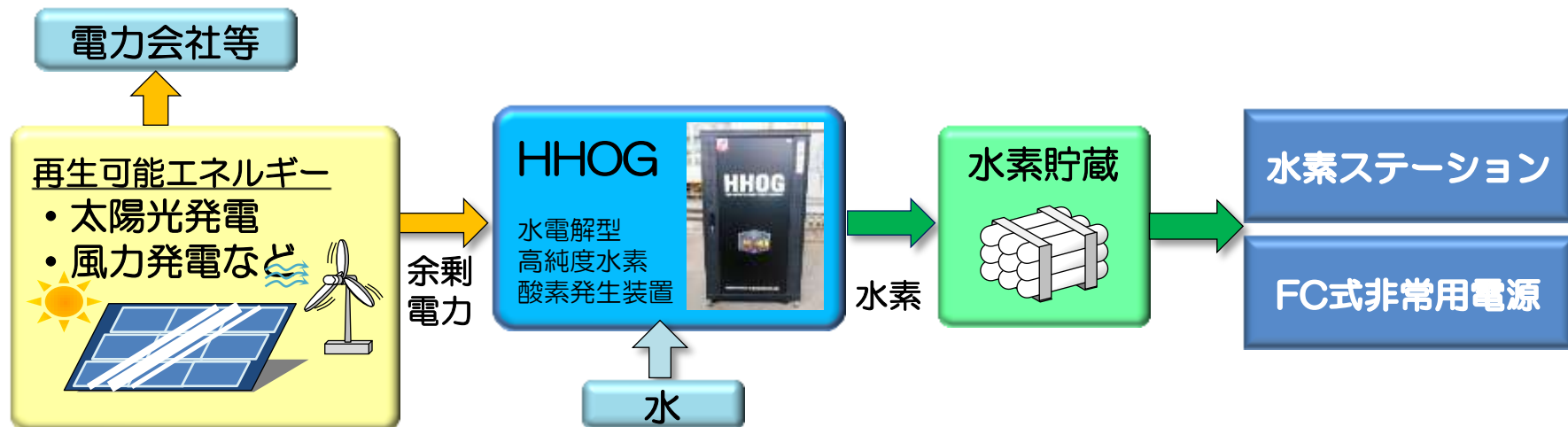
白色の粒状化部分がパラミロン  
パラミロンは体の免疫機能をつかさ  
どる細胞を活性化させる働きを持つ

◆Ⅲ 2013～15年度中期経営計画  
水素社会への貢献

水電解式高純度水素発生装置(HHOG※)による水素社会への貢献

- 「水と電気」で「高純度の水素ガス」をオンサイトで発生
- 1～60Nm<sup>3</sup>/hrをシリーズ化し、半導体製造、金属熱処理、燃料電池などの生産・研究用の水素供給ユーティリティとして、販売開始以来130台を超える実績
- 再生可能エネルギーとの組み合わせで、CO<sub>2</sub>フリー水素を製造

●水素製造装置のシステム構築例



※HHOG：High-purity Hydrogen Oxygen Generator

## ◆将来見通しに関する注意事項

本資料の中には、当社の将来への予測に関する内容が含まれています。これらは、当社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまう可能性があります。当社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。